

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	留学生交流拠点整備事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・未定		担当課室	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 渡辺 正実	
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 14-1 国際交流の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「留学生30万人計画」及び「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」において示された、30万人の外国人学生の受入れに適切に対応するため、地域全体で、留学生の受入れから生活面・就職活動までを一体的に支援できる体制を構築する事業を実施し、地域における留学生支援施策の底上げを図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学等が、自治体やNPO、ボランティア団体等と連携し、地域の核となる国際交流拠点を整備して、留学生と日本人の学生・児童生徒及び地域住民等との交流を深めながら、地域一丸となって、留学生支援を行う仕組みを構築するための調査研究を委託。全国各地域をモデル事業として指定し実践させるとともに、国が中心となって優良事例を収集、広く情報提供することにより、地域ぐるみの留学生支援施策の底上げを図る。</li> <li>○ 事業主体が実施する内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体やNPO法人等と連携し、補助事業終了後も自立的に継続して留学生支援に取り組むことができる仕組みの構築</li> <li>・留学生と地域との交流活動、留学生に対する生活・就職支援等</li> </ul> </li> </ul>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	51	51	120
		繰越し等	-	-	0	0	
		計	-	-	51	51	120
	執行額	-	-	35			
	執行率(%)	-	-	68.6%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (42年度)
	我が国が受け入れる外国人留学生数		成果実績	141,774人	138,075人	137,756人	300,000人
			達成度	%	47.3%	46.0%	45.9%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域の核となる国際交流拠点数		活動実績 (当初見込み)	-	-	7 (8)	- (10)
			算出根拠	単位当たりコスト＝ 24年度執行額(35,492千円)／地域の核となる国際交流拠点数(7件)			
単位当たりコスト	5.1 (百万円/件)						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	留学生交流拠点整備費委託費	44百万円	110百万円	委託先の追加、フォローアップ調査及びシンポジウム実施に伴う増			
	政府開発援助留学生業務謝金	3.5百万円	2.3百万円				
	政府開発援助留学生業務庁費	2.2百万円	4.7百万円				
	政府開発援助教員等派遣旅費	1.7百万円	2.5百万円				
	政府開発援助留学生業務旅費	0.6百万円	0.7百万円				
	計	51百万円	120百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。			

事業所管部局による点検															
		項目	評価	評価に関する説明											
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「留学生30万人計画」や「日本再興戦略～Japan is back～」に示された30万人の外国人留学生の受入れの達成に向け、大学を中心に地域一丸となって留学生支援を行うモデルとなるような優れた仕組みを構築するため、そのスタートアップを支援する事業であり、国が率先して実施すべき優先度の高い事業である。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○												
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業委託先の選定にあたっては、企画競争を行うとともに、選定委員会を設け、書面による審査を実施し、提案内容の精査を行った上で拠点を採択している。本事業は、終了後も自主的に拠点整備の取組を継続することを採択の条件としており、あくまでスタートアップに必要な経費に限って支援している。平成24年度は7拠点を採択し、平成25年度は平成24年度と同額の予算で新規3拠点を加えた10拠点に対して支援を行うこととしており、より多くの優れた取組に対して支援を行うとともに、拠点当たりの経費は真に必要なものに限定した。なお、平成24年度は、当初計上していた会議を予定通りに開催しなかったことによる不用を生じたが、これは、事業成果発表の場について精査した結果、当初開催を予定していた時期に、定例に開催される別会議における参加者の多くが本事業に関心を持つことが見込まれ、その場において成果発表をおこなうことで、成果の普及が一層図れると考えられたため、当該会議と併催することとしたことによるものである。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○												
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○												
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○												
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	採択拠点を選定した委員に各拠点の視察を依頼し、意見交換、フィードバックを行うことで、進捗状況の確認(事業の進捗は概ね見込みの通りである。)及び現場の更なる施策改善につなげている。また、全体的な成果発表の場を設けるだけでなく、各々の拠点においても、地域に向けて情報発信するイベントを自主的に開催すること等により、各地域における留学生交流の一層の促進に努めている。											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○												
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名												
点検結果	<p>・「第2期教育振興基本計画」及び「日本再興戦略」にある「留学生30万人計画」の実現に対応するため、国のみでなく、各地域において外国人留学生の受入れから生活面・就職活動までを一体的に支援する体制の構築という点で効果的な事業である。また、最大3年間事業を継続することができることから、継続的な拠点形成に効果的な事業である。</p> <p>・平成24年度は12件の申請があり7件を選定し、平成25年度は11件の申請があったが予算の関係上3件のみの選定となっているが、各年10件以上の申請があり、大学や自治体等からのニーズも高い。</p> <p>・平成24年度に選定した事業について、大学及びコンソーシアムが実施するイベントなどにより外国人留学生と日本人学生・地域住民との交流が行われ、地域における留学生拠点形成に一定の成果を上げている。</p> <p>・経費の執行に関しては、単価当たりコストが約5百万円であることから、真に必要な経費のみを計上しており、適切な執行管理が行われている。また、平成25年度は厳しい予算の関係上、申請金額を圧縮して選定しており、事業執行に必要な最低限の経費のみに限って委託契約している。</p>														
外部有識者の所見															
<p>本事業においては、イベントの開催などにより外国人留学生と日本人学生・地域住民との交流が行われ、地域における留学生拠点形成に一定の成果が上がっていると認められる。しかしながら、より効果の高い事業とするため、今後は、外国人留学生の住居に対する支援や地元企業へのインターンシップ支援など、より複合的な支援が行えるよう改善を検討すべきである。</p>															
行政事業レビュー推進チームの所見															
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、留学生の受入れから生活面・就職活動までを一体的に支援できる体制を構築する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>														
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況															
縮減	<p>これまでの執行実績を踏まえ、不用率の高かった諸謝金について委員の会議への出席回数等の見直しを図り、概算要求に▲1.2百万円反映した。</p>														
備考															
関連する過去のレビューシートの事業番号															
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新24-0015									

文部科学省  
35百万円

諸謝金 0.7百万円  
委員等旅費 0.8百万円  
職員旅費 0.1百万円 } 等を含む

〔大学等が、自治体やNPO、ボランティア団体等と連携し、地域の国際交流拠点を整備して、生活面や就職、教育貢献活動など、地域一丸となった留学生支援を行う仕組みを構築するための調査研究を委託。〕

【企画競争・委託】

A.  
大学(全5大学)  
24百万円

B.  
大学(全2大学)  
10百万円

〔大学等が、自治体やNPO、ボランティア団体等と連携し、地域の国際交流拠点を整備して、生活面や就職、教育貢献活動など、地域一丸となった留学生支援の取組を実施する。〕

【随意契約・再委託】

C.  
NPO法人等(全2者)  
8百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

(大分大学のケース)

文部科学省

【企画競争・委託】

B. 大分大学  
6.4百万円

【随意契約・再委託】

C. NPO法人大学コンソーシアム  
おおいた  
5.8百万円

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.岡山大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業活動費	通訳手配、印刷製本、消耗品等	2.6			
人件費	コーディネータ給与、講師謝金等	2.3			
旅費	調査及び資料収集、講師招聘	1.2			
計		6.0	計		0
B.大分大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
再委託費	NPO法人大学コンソーシアムおおいに業務委託を行うための経費	5.8			
人件費等	雇用経費等	0.6			
計		6.4	計		0
C.NPO法人大学コンソーシアムおおい			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	コーディネータ等給与、講師謝金等	3.5			
事業活動費	ホームページ作成、書籍、消耗品等	2.3			
計		5.8	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人岡山大学	岡山大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	6	企画競争	—
2	国立大学法人長崎大学	長崎大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	5.9	企画競争	—
3	国立大学法人山口大学	山口大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	4.3	企画競争	—
4	学校法人関西大学	関西大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	4.2	企画競争	—
5	国立大学法人山形大学	山形大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	3.6	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人大分大学	大分大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	6.4	企画競争	—
2	国立大学法人埼玉大学	埼玉大学における留学生交流拠点の整備に関する実践的調査研究	3.4	企画競争	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人大学コンソーシアムおお	留学生支援等事業の実施、大学、経済団体、地方公共団体等参加団体との連絡調	5.8	随意契約	—
2	公益財団法人埼玉県国際交流協	地域交流、就職支援、生活支援等事業及び大学、経済団体、地方公共団体参加	2.0	随意契約	—